

2015年度 兵庫県トライアスロン協会 第3回理事会議事録

1. 開催日:2016年4月3日(日) 9:00~10:20
2. 開催場所:神戸市立兵庫勤労市民センター会議室
3. 理事会定足数

- ・理事総数会長以下:総数 36人(過半数 19名)
 - ・出席:17名
 - ・欠席(委任状あり):14名(14名)
 - ・合計:31名
- 定足数を満たし、本会議は成立する。

4. 出席者

(役員・理事)

末松会長、的場副会長、渡邊理事長、水野副理事長、仲宗根副理事長、酒井常任理事、大原常任理事、長谷川常任理事、河合常任理事、

大西理事、川崎理事、竹中理事、増本理事、武田理事、伊藤理事、岡本(裕之)理事、山本事務局長
(オブザーバー) 丹波市協会芦田氏、篠原会員、宮本会員

議事録作成:山本事務局長

5. 議事内容

- (1) 開会宣言:渡邊理事長
- (2) 定足数の報告:山本事務局長
 - ・理事総数会長以下:36名
 - ・出席者 17名
 - 欠席 14名(内 委任状 14名)
 - ・合計 31名(委任状を含む)。定足数を満たし、理事会の成立を確認した。
- (3) 会長挨拶:末松会長
 - ・祝辞兼挨拶文を渡邊理事長代読
- (4) 議長選出:規約に則り、会長代理として、渡邊理事長が議長に選出された。
- (5) 審議事項
 - 第1号議案 2015年度事業活動報告:水野副理事長
 - ・資料に従い、概況を報告。
 - ・2015年度は、兵庫県トライアスロン協会(HTA)主管・共催大会として、6大会と協力大会のラブトライアスロンの7大会を開催した。
 - ・GP三木は、7/1オープンの予定で、6月末の開催は不可。また、室内プールも子供用に改修され、使用できない。
 - 今年度は、GP三木の大会、カーフマン近畿ステージ、ラブトライアスロンの3大会とGP三木の教室が開催できない。(すでにホームページに掲載済み)
 - ・グリーンピア三木で開催してきたトライアスロン教室は、参加者47名、スタッフ11名。
HTAの指導者有資格者から中級2名、初級5名が指導に当たり、指導実践の場として定着してきた。トライアスロン教室は、参加者も多く、指導者にも貴重な機会。
GP三木では、開催できないが、違う場所で実施できないか、検討してほしい。
 - ・7/5に発生した須磨アクアスロンでの水死事故を受けて、近畿ブロックメディカル委員会の要請で、事故の予防と対応の見直しを行い、5項目を実施。
結果として、無事故だったので、成果はあった。

○リスクのある競技を注意喚起 ○水上バイク(レスキュースレッドを牽引)の導入

○競技前に救護担当医から諸注意と勇気あるリタイアの勧め

○スイム競技前に心拍数を上げるウォーミングアップ体操を全員で実施

○スイムガードに声掛けとリタイアを促す権限の付与

・県体育協会選手育成・強化事業

強化合宿 4 回(夢合宿、長良川ジュニア選手権向け強化合宿、日本選手権向け強化合宿、スーパーアスリート医科学サポート 鳥取ワールドウイング合宿)、拠点活動練習会 11 回、U15ドラフティング練習会 1 回。

・認定記録会(2/28) 参加者 90 名(申込 97 名 過去最高)、スタッフ 20 名。

・2015 年度 JTU/HTA 会員登録 823 名(ジュニア 32 名、一般 670 名、審判限定 4 名、団体一般 117 名) 順調に会員数は増加している。

・HTA より、近畿ブロック内にパラトライアスロン専門委員会を提案。

可決された。委員長には、HTA 大西健夫理事が就任。3 月のセミナーから活動を開始。

・審判派遣状況の報告

・関西ワールドマスターズゲームス(関西 WMG)2021 関連

トライアスロンの開催地として、神戸市が立候補。競技団体として、コース案を作成。

開催地の決定は、2016 年秋の予定。現段階で新しい情報はないが、神戸開催を目指し、関係部門への働きかけや協力をしていく。

● 【質疑】

特になし

渡邊理事長より、補足。

・800 名を超えたという数字は、東京、神奈川、千葉、愛知、大阪に次ぐ、会員数。

人口が少ない割に大きな会員数を抱えているのは、新潟県で 700 名程度の登録がある。兵庫の 800 名は山陽、神戸、阪神に集中。但馬地区から理事を出せるように、働きかけをしていく。

(北但馬:新温泉町 1 名、豊岡市 2 名、南但馬:養父市 1 名)

・【結論】第 1 号議案は、提案通り承認された。

● 第 2 号議案 2015 年度収支決算報告:山本事務局長

・資料に従い、説明。

・2015 年度も、登録会員数は増加し、予算設定の 800 人には達したが、団体登録やジュニアの比率が高くなり、会費収入が予算と差が生じ始めている。

・支出の大きな項目としては、事業費。

事業関係では、大会の協会負担金がある。例えば、明石の場合は、大会実行委員会から支給される審判の交通費は 2000 円のため、支給額 3000 円との差額分が協会の負担となり、大会規模に対して、負担が大きい。

・明石の競技主管料が監査後に入金になったため、収入には計上できていない。主管料 35,000 円は、2016 年に計上する。

・体育協会の補助金は現在、最終の査定中。全額を収入と支出に計上している。差額については、次年度繰越金として扱う。

● 【質疑】

・大会負担金は、2015 年度 707,320 円なのに、2016 年度は、450,000 円。大会数が減ることを考慮にしても、妥当な金額か？

→大会負担金は、読めないところがあり、大会数も減るので、このあたりの数字を見込んでいる。(水野副理事長)

・渡辺理事長より補足

当協会 25 周年記念会員限定のポロシャツ在庫がある(M 若干・L)。5000 円にて頒布中。是非、購入をお願いしたい。

・岡本理事より、体協の助成金に関して、補足。

2015 年度、スーパーアスリート(SA)として、中尾大樹選手と内田真樹選手が認定された。ところが、中尾選手は、西脇工業高校の陸上競技部の主力として活躍、結果として、トライアスロンの練習に参加することがままならず、補助金は、ほぼ全額近くを返金することになった。素晴らしい選手だと目を付けたのは良かったが、素晴らしい選手だけに難しい面があった。2016 年度は、継続して内田選手、県の優秀選手として表彰された二井選手、JTU エリート強化指定を受けた澤瀉選手、環境を変えてチャレンジすることになった前田選手もこれからの成長の可能性に期待して、4 名を申請している。承認されれば、全体で 250 万程度の助成金になる。

2016 年度の国体用予算は、県として、8000 万円を計上している。正式競技になるので、選手男女各 2 名、監督 2 名の費用が助成される。国体のための協会の費用負担は、ほとんどない。

・【結論】第 2 号議案は、提案通り承認された。

● 第 3 号議案 2016 年度事業計画案:渡邊理事長

・資料に従い、説明。

・2016 年度は、GP 三木が使えないために、大会数は減るが、質的向上を目指す。

・兵庫県体育協会の協力の下、【ジュニア育成強化・拠点事業】が 2 年目に入り、着実に成果が表れた。2 年目に入る【スーパーアスリート養成事業】もそれぞれの選手が成果を出して、さらに飛躍が期待される。

・2020 年のパラリンピック正式競技に向け、近畿ブロック内にパラ委員会が設立された。

当協会が、中心になって、普及と強化に取り組む。

・懸案課題の高校生の強化は、県高校選手権が、内実を伴うようになり、県下の高校に少なくとも、3 校のトライアスロン部や同好会の設立できるよう、トライアスロンの認知度を高める働きかけを行う。

・【2021 年関西ワールドマスターズゲーム】は、今秋、トライアスロンの開催地が決定する予定。

候補地は、日和佐、南丹、白浜、神戸。大会実施経験がない神戸だが、都市型開催、スポーツツーリズムの観点から、組織委員会の英断を期待したい。

・第 29 回兵庫県トライアスロン選手権は、本当に選手権の名前にふさわしい選手が出場するように、本年度は、大阪トライアスロン舞洲大会に併設する。(エイジ51.5km)

・2017 年度の認定記録会は、プールは、尼崎スポーツの森、ランは、尼崎市陸上競技場。

開催予定は、3 月 12 日。

・JTU 社員総会は、従来は、3 月と 6 月に開催していたが、2015 年度からは、6 月一回のみに変更となった。(緊急かつ特別な審議事項があれば、臨時開催される)

・GP 三木のトライアスロン教室が中止になった。尼崎スポーツの森での開催を検討中。指導者養成委員会で検討をお願いしたい。

- ・各市町トライアスロン協会の設立について、芦屋、明石の組織を設立したいが、なかなか難しい。現在は、丹波市トライアスロン協会のみ。
- ・近畿ブロックのジュニアと U12 の強化合宿は、内山氏が AS 京都として独立したことで、運営が見直されている。兵庫県協会としても協力していく。
- ・審判派遣も World Wide に活動の幅を広げたい。
- ・毎年 12 月に開催される兵庫県体育協会の競技力向上研修会(12/3)は、非常に有益なセミナー、是非、参加されることをお勧めする。

・【結論】第 3 号議案は、提案通り承認された。

● 第 4 号議案 2016 年度予算案:山本事務局長

- ・資料に従い、説明。
- ・2016 年度も、会員登録数 800 人で予算を設定した。
- ・今年度も、3/31 に体育協会から育成と強化プロジェクトとして、二本立てで、助成金の内示があった。強化費 504,000 円、育成費 376,000 円
SA の補助金が決定すれば、5 月の理事会で補正予算を申告する。

● 【質疑】

特になし。

・【結論】第 4 号議案は、提案通り承認された。

● 第 5 号議案 2015～16 年度 役員一部変更案:山本事務局長

- ・役員名簿(案)にて、提案。
- ・異動点
 - ①長谷川順一 常任理事→理事
 - ②新規任命理事 宮本宗明、篠原勇理
- ・長谷川常任理事が担当していた県体育協会の評議員は、5 月の第 1 回理事会で推薦する。
- ・補足(渡邊理事長)
来年は、理事の改選年度。基本的には、理事に退任を求めることはしないが、この 2 年間、活動しなかったごく一部の理事に対しては、年度末に解任するか否かの判断を行う。

・【結論】第 5 号議案は、提案通り承認された。

● 第 6 号議案 HP の掲載基準、HP の見直しについて:酒井常任理事

- ・ホームページへの広告を有料化する。但し、教室は、無償。
掲載して良い広告かどうかは、規定により判断するが、グレーな場合は、理事長、副理事長の判断に委任することが、1 月の常任理事会で承認された。
- ・これを機会に HTA のホームページをリニューアルし、見やすくする。
リニューアルにかかる費用等は、次回に報告する。
現在、辻理事しか、記事の掲載ができないが、関係者は掲載できるようにする。

- ・継続して、酒井常任理事が検討を行う。リニューアルの時期は、今秋。
- ・大阪協会の内田氏と大会出場記録を検索できるデータベースをJTUに提案する。
まずは、兵庫と大阪でお試し版を作る。

- 【質疑】

- ・JTUがWEBシステムを導入した際に、マイページを作ったのは、そういう履歴を検索できるようにデータを積むのが目的、すでに仕組みができているかどうかはわからないが、同様なシステムなので、JTUと事前に打合せが必要と思う(山本事務局長)
- ・ネオシステムは、各大会の受付や計測を担当しているのだから、データは持っているはず。それらのデータを使用すれば、JTUではできるはず。(水野副理事長)

- ・【結論】第6号議案は、提案通り承認された。

- 第7号議案 弔慰金について:渡邊理事長

- ・資料に従い、説明。
- ・対象者を会員に限るか、主管大会における死亡に対しては、会員に関係なく、弔慰金をお渡しするかどうかなど、色々な意見が出された。

- ・【結論】第7号議案は、今回の議論を受けて、継続審議となった。

(7) 報告 各専門委員会、事務局

- ・各委員会からの報告は、時間の関係上、総会で行うことにした。
- ・丹波市大会は、今年から、ネオシステムのMSPOエントリーを導入。事務局負担を低減する。ネオシステムとの交渉により、中間払いが可能となった。丹波市大会は、申し込み締め切りが4月末だが、3月末締めで中間払いが受けられる。これにより、運営資金が確保できる。明石・時感動アクアスロン大会にも同システムを適用する。(水野副理事長)
- ・スポーツワールドから、少しずつ、会員の割引制度の使用率が上がってきている。丹波市大会に出店したいので、手続きを知りたいとの要望があった(竹中理事)
→オブザーバー出席の丹波市協会芦田氏と連携する。

(8) その他

特になし

6. 閉会宣言:渡邊理事長

以上